

稲畑産業株式会社

# 株主通信

2016年3月期 第2四半期

2015年4月1日~2015年9月30日

人と人をつなぐ、  
あなたのベストパートナーでありたい。

**IK INABATA**





株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2015年4月1日から同9月30日における事業の概況をご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間の概況について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気減速を背景にアジア新興国等に弱さがみられ不透明な状況が続きました。

一方、日本経済は、輸出や生産に弱さもみられましたが、底堅い個人消費や企業収益の改善に支えられ、緩やかに景気回復が続きました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、292,740百万円(対前年同期比5.4%増)となりました。利益面では、営業利益5,932百万円(同15.8%増)、経常利益6,739百万円(同2.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,785百万円(同5.9%減)となりました。

株主優待制度について

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝して、2015年9月より株主優待制度を導入いたしました。

毎年9月30日時点で、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様に、QUOカードを進呈いたします。詳しくは裏表紙に記載しておりますのでご覧ください。

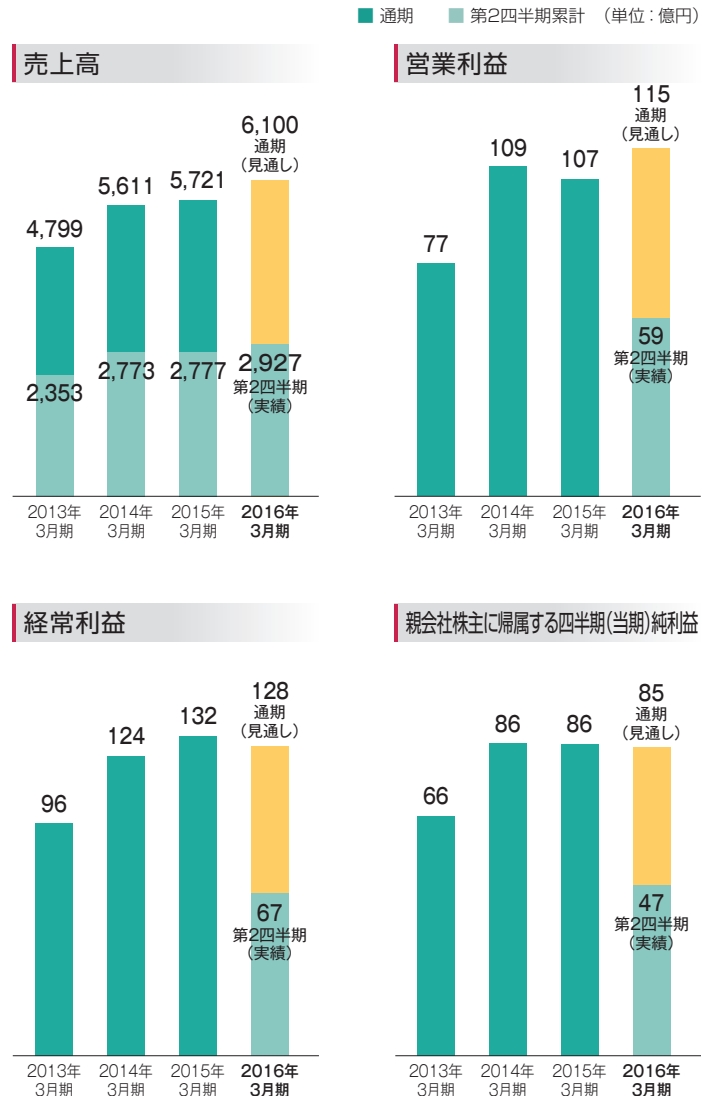
配当について

当期の中間配当金につきましては、当初の予定のとおり、1株当たり16円とさせていただきます。期末配当につきましては、1株当たり17円(中間配当とあわせて年間33円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

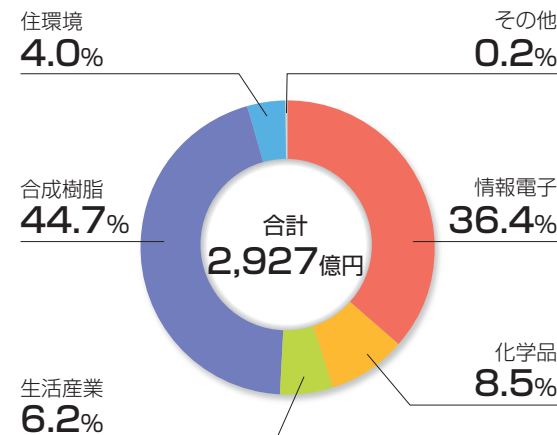
2015年11月

代表取締役社長 稲畑勝彦

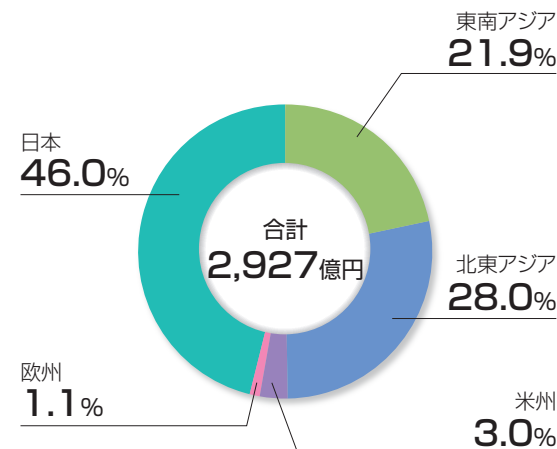


(注) 1. 「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの当期純利益についても科目名を統一しております。  
 2. 2013年3月期及び2014年3月期第2四半期実績は、会計方針の変更に伴う遡及修正後の数値を記載しております。

事業区別売上高構成比 (2015年4月1日~9月30日)



所在地別売上高構成比 (2015年4月1日~9月30日)





▶ きっかけはコーンスターチ

当社は、1890年にフランスからの合成染料の輸入商として創業しました。その後、染料事業から発展して、情報電子、化学品、生活産業、合成樹脂、住環境など幅広い分野へ事業を展開していききました。

染料などの化成品とは一見縁が薄い食品ビジネスですが、実は染色の工程において助剤として使用されるでんぷん(コーンスターチ)の取り扱いをはじめたことが、当社が食品市場へ参入するきっかけでした。

ここでは、当社の生活産業事業における食品ビジネスの中で、皆様にも身近なすしネタとブルーベリーについて、ご紹介いたします。

すしネタの展開

当社は、1983年に冷凍エビの輸入を開始、回転すしや持ち帰りすし、スーパー向けなど業務用として販売しました。その後、アジア各地に調達先を広げ、エビを現地ですし用に加工して日本へ輸出するというビジネスモデルを構築しました。

現在では、海外グループのネットワークを生かし、アジアだけでなく、南米など世界各地からエビ、ウニ、うなぎなどを調達、厳格な品質管理のもと、外食、量販店関連のお客様に販売しています。

グループ会社の(株)一光園では、海外水産品や国内の鮮魚をすしネタに加工、365日の配送体制のもと、主に回転すしチェーンへ販売しています。同じく(株)ダイワフーズでは、水産物や惣菜の企画、開発、委託加工を行い、主に量販店や外食向けに販売しています。

原料食材の調達から加工、配送まで、きめ細かくさまざまな機能をご提供できるのが、当社のビジネスの特徴です。



ブルーベリーの市場でも

皆様もよくご存じのブルーベリー。実はこの市場でも、当社は機能を発揮しています。

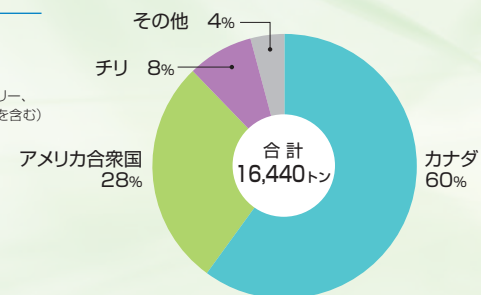
当社は、1980年代前半、業界に先駆けてカナダ産ブルーベリーの輸入を手がけて以来、国内のブルーベリーの市場を開拓してきました。近年、ブルーベリーは健康食品として注目され、大きく取扱量が伸長、今では当社が扱うブルーベリーは、輸入冷凍ブルーベリーの約20%のシェアを占めています。

当社は、カナダ、アメリカ、チリなど産地国の農場と契約、徹底した品質管理を行い、国内のお客様にジャム、ヨーグルトの原料として、また、量販店や外食向けの小袋パック詰め商品を生産、販売しています。長年の販売実績を生かし、北米やアジア市場への販売も開始しました。



ベリー類の日本の輸入量

(2014年実績、ブルーベリー、ラズベリー、その他ベリーを含む)



<財務省貿易統計より>

Message <メッセージ>

安全・安心な食材を世界からお届けします。

当社は、長年の取り扱い経験と豊富な知見により、常に市場のニーズを捉え、お客様のご要望に基づいた高品質な商品作り、新商品の提案を行っています。

また、安全面では、当社の品質管理チームによる厳格な監査体制のもと、世界各国の産地において生産指導、品質確認を行っています。

これからも、産地から加工、販売までをトータルに管理する供給体制によりお客様のニーズにお応えします。



生活産業本部長  
藤本康之

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2015年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2015年9月30日現在	増減額
流動資産	234,975	227,813	△ 7,161
固定資産	91,886	85,875	△ 6,011
資産合計	326,862	313,689	△ 13,172
流動負債	154,713	146,758	△ 7,954
固定負債	43,622	40,904	△ 2,717
負債合計	198,335	187,663	△ 10,671
純資産合計	128,526	126,025	△ 2,501
負債純資産合計	326,862	313,689	△ 13,172

Point 1 流動資産の減少

受取手形及び売掛金、現金及び預金が減少した等のため、7,161百万円減少しました。

Point 2 固定資産の減少

時価の下落により投資有価証券が減少した等のため、6,011百万円減少しました。

Point 3 流動負債の減少

支払手形及び買掛金、短期借入金が減少した等のため、7,954百万円減少しました。

Point 4 売上高の増加

主に円安の影響により、15,032百万円増加しました。

Point 5 営業利益の増加

円安の影響と合成樹脂事業の好調等により、808百万円増加しました。

Point 6 経常利益の減少

為替差損の増加等のため、168百万円減少しました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日	増減額
売上高	277,707	292,740	15,032
売上総利益	18,853	20,651	1,797
販売費及び一般管理費	13,729	14,718	989
営業利益	5,124	5,932	808
営業外損益	1,783	806	△ 976
経常利益	6,907	6,739	△ 168
特別損益	247	-	△ 247
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,086	4,785	△ 300

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2014年4月1日～ 2014年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,607	1,913	△ 2,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 724	△ 80	644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,521	△ 4,167	4,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	518	△ 243	△ 761
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,120	△ 2,576	1,543
現金及び現金同等物の期首残高	18,402	17,394	△ 1,008
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	210	49	△ 160
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,492	14,867	374

(注)「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」とし、前第2四半期連結累計期間についても科目名を統一しております。

会社概要

(2015年9月30日現在)

会社名	稲畑産業株式会社
創業年月日	1890年10月1日
設立年月日	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
従業員数	609名(グループ会社への出向者を含む) [連結3,581名]
大阪本社	大阪市中央区南船場一丁目15番14号
東京本社	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
名古屋支店	名古屋市中区名駅二丁目27番8号
営業所	松本営業所、九州営業所(霧島市)

役員

(2015年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	稲畑 勝太郎	常勤監査役	上 杉 隆
代表取締役専務執行役員	西 村 修	監査役	鈴木 修一
代表取締役専務執行役員	赤 尾 豊弘	監査役	松 山 康二
取締役常務執行役員	菅 沼 利之	監査役	高 橋 慶孝
取締役常務執行役員	横 田 健一	執行役員	望 月 卓
取締役常務執行役員	佐 藤 友彦	執行役員	杉 山 勝浩
取締役	高 萩 光紀	執行役員	小 田 吉哉
取締役	高 尾 剛正	執行役員	安 江 範臣
取締役	中 村 克己	執行役員	大 橋 基雄
		執行役員	幡 本 裕之

(注)1.取締役 高萩 光紀、高尾 剛正及び中村 克己は、社外取締役であります。  
2.監査役 鈴木 修一、松山 康二及び高橋 慶孝は、社外監査役であります。


株式情報


(2015年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 普通株式 200,000,000株
- 発行済株式の総数 普通株式 63,499,227株
- 株主数 4,561名
- 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	22.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,963	6.3
JP MORGAN CHASE BANK 385093	3,191	5.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,298	3.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.8
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,346	2.1
稲畑 勝雄	1,161	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,119	1.8
株式会社みずほ銀行	1,114	1.8
丸石化学株式会社	961	1.5


(注)当社保有の自己株式数(609,850株)につきましては、持株比率の計算より除いております。

詳しくは  <http://www.inabata.co.jp>

稲畑産業 投資家 検索 

**当社WEBサイト「投資家向け情報のページ」へ是非お越し下さい。**

より詳しい財務データやIR情報をタイムリーに掲載しております。





## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	毎年6月開催
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.inabata.co.jp/koukoku">http://www.inabata.co.jp/koukoku</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	8098
単元株式数	100株
会計監査人	大阪市中央区瓦町三丁目6番5号 銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(ホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

### 【特別口座について】

株券電子化前(ほふり(株式会社証券保管振替機構))を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社(特別口座といひます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## 株主優待制度

株主の皆様の日頃のご支援に感謝して、2015年9月より株主優待制度を導入いたしました。

### ● 対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に登録された当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

### ● 株主優待の内容

当社オリジナルQUOカード

継続保有期間3年未満の株主様

**QUOカード500円分**

継続保有期間3年以上の株主様

**QUOカード1,000円分**



※継続保有期間3年以上とは・・・

毎年9月30日を基準日として、3年前以降の全ての基準日において、株主名簿に同一の株主番号が継続して記録されている株主様をいひます。

### ● ご送付の時期

毎年12月初旬頃に、第2四半期株主通信と併せて発送いたします。

## お知らせ

### ▶ 野村IR資産運用フェア2015に出展します

当社は、12月11日・12日「野村IR資産運用フェア2015」(場所：ベルサール渋谷ガーデン、主催：野村インベスター・リレーションズ(株))に出展いたします。ぜひお越し下さい。

詳しくは、下記ページをご覧ください。

<http://www.nomura-ir.co.jp/fair2015p/>

(野村インベスター・リレーションズ(株)のWEBサイト)